

### 広野町敬老会を開催



↑金婚夫婦へ表彰状を渡す遠藤町長

9月5日、広野町中央体育館で平成30年度広野町敬老会を開催し、遠藤町長、早川正也福島民報社浜通り創生局長がご長寿を祝い祝辞を述べました。

式には、結婚50周年を迎えられた金婚ご夫婦3組の皆さんへ広野町と福島民報社より表彰状と記念品を贈呈しました。また、広野町の最高年齢者の方には広野町社会福祉協議会会長、広野町老人クラブ連合会会長からそれぞれ記念品を贈呈したほか、85歳以上の方245人へ社会福祉協議会より記念品が贈呈されました。

式の後には、ものまね歌手のレディーエリカさんや一木ひろしさんによる歌謡ショーが催されました。

### 杉山盛雄前静岡県議会議長が来町



↑ふたば未来学園高等学校建設地を視察する杉山前静岡県議会議長（写真右）

9月3日、杉山盛雄前静岡県議会議長が広野町を訪れ、遠藤町長と懇談するとともに、町内の認定こども園建設地、ふたば未来学園高等学校建設地、広野駅東側開発区域の状況などを視察しました。杉山前静岡県議会議長は、静岡県沼津市にある学校法人沼津学園が運営する飛龍高校および桐陽高校の理事長を務め、両校が昨年、広野駅東側地区の一部に河津桜100本を植樹するにあたり、町が植樹場所を提供したことへの御礼のため来町しました。

杉山氏は河津桜の植樹された場所を訪れると、「実際に被災地を訪れ、支援を経験させることは生徒への教育的効果は大きい。今後も広野町の復興に寄与したい」と話しました。

### 平木大作経済産業省政務官が来町



↑平木政務官（写真左）に要望書を手渡す遠藤町長（写真右）

9月4日、平木大作経済産業省政務官が双葉郡の復興状況など視察するため広野町を訪れました。

遠藤町長は、「環境や風評の影響について慎重に議論し、地元の理解を優先してほしい。」と東京電力福島第一原子力発電所で汚染水浄化後に残る放射性物質トリチウムを含む水の処理について要望しました。また、①東町地区産業団地（仮称）の整備、②IGCCの立地に伴う新たな交付金制度の創設、③イノベーション・コースト構想の推進についてなど、町の復興に向けた国の支援についての要望書を手渡しました。

### ハタゴイン福島広野 合同入社・着任式を実施



↑祝辞を述べる遠藤町長

9月1日、遠藤町長は広野駅東側に建設中のビジネスホテル「ハタゴイン福島広野」の合同入社・着任式に出席しました。

遠藤町長は、「皆さんが新たな門出を迎えることは大変喜ばしいことです。復興・創生に向けて、力を結集して歩んで参りましょう。」と25名の新任職員に対し祝辞を述べました。

### 双葉地方町村会・双葉地方町村議会議長会合同要望活動を実施



↑吉野正芳復興大臣（写真中央）に要望書を提出

9月18日、双葉地方町村会と双葉地方町村議会議長会は合同で、復興庁の吉野正芳復興大臣をはじめ、国土交通省、環境省に対し要望活動を行いました。

要望事項として、①常磐自動車道の早期4車線化、②国道6号線の4車線化、③ふくしま復興再生道路の整備、④復興を支える道路の整備について要望し、過去に類を見ない極めて過酷な原子力災害であるという特殊事情を再度認識していただくとともに、双葉地方の復興・再生に向け国の責務として対応するよう強く求めました。

### 服部信明茅ヶ崎市長を表敬訪問



↑表敬訪問をする遠藤町長（写真左）

8月7日、遠藤町長は神奈川県茅ヶ崎市の服部信明市長を表敬訪問し、広野町への職員派遣に対し感謝の言葉を述べました。同市からは平成29年度より広野町へ職員を派遣していただいております。現在も健康福祉課において派遣職員が業務にあたっています。

服部市長は、「今後も職員派遣を継続していきたい。広野町の復興のために支援をしていく。」と話しました。

### 国産バナナ栽培事業の定植式を実施



↑定植の様子

9月19日、広野町二ツ沼総合公園内のビニールハウスで広野町振興公社が取り組むバナナ栽培事業の定植式が実施されました。式では、中津弘文振興公社社長が「本県でのバナナ栽培はインパクトが大きい。商業や観光業の復興につなげたい。」と挨拶しました。

また、遠藤町長、黒田議会議長、農業法人GPFファームの半田貴裕社長が祝辞を述べたあと、順調に生育することを祈り苗に土をかけました。栽培するバナナは糖度が高いため甘味が強く、農薬を使わず皮まで食べられるのが特徴です。

### 秋の全国交通安全運動を実施



↑立哨活動の様子

9月21日から9月30日の期間に実施した秋の全国交通安全運動では、遠藤町長をはじめとする町職員が横断幕や一文字看板などを持って、役場前の国道6号で立哨活動を行い、交通安全の啓発を呼びかけました。